



地域の方々が見守る中、登校する児童たち。
今年の新入生は、
市原小12名、りんどうヶ丘小15名、
中原小3名、南小国中25名です。

持続可能な町の実現へ！

令和7年度 一般会計当初予算

総額57億700万円 可決

ここに注目!! 今年の予算

議員の気になるポイントは？

小国杉モバイル建築施設整備工事

995万円 (下城孔志郎議員)

Q モバイル建築の「基準」はあるのか？またそれは公開しているのか？

A 基準は製造ノウハウをもつ一般社団法人日本モバイル建築協会が定めているが公開していない。同協会とライセンス契約を締結する必要がある。



町長の施政方針

一歩ずつ着実に歩みを進め、「南小国だからできること」「南小国じゃなければできないこと」の実現に挑戦していきたい。

- JA跡地の利活用に向けた協議
- 道路や水道などインフラ施設の老朽化対策
- 移住定住の促進
- 今後の農業を考える会で話し合っている持続的な農業経営や発展に向けた取り組みへの支援
- 未来の担い手を育む教育の充実

移動投票車

0円 (佐藤 毅議員)

Q どの自治体も選挙の投票率が低下している。移動投票車を導入しては？

A 移動投票車(移動期日前投票所)は県南のほうで導入しており、すごく助かっているという話を聞いた。先進地の取り組みを参考にして判断していきたい。



D-ONU管理サーバ更新業務委託料

3,300万円 (北里桂一議員)

Q 事業の内容は？

A ケーブルテレビセンターに設置してある、光回線をLAN回線に変換する機械を一元管理するためのサーバが耐用年数を経過していることから更新を行う。



大阪万博研修補助金

1,700万円

(井野和哉議員)

Q 研修の目的と内容は？

A 子供たちが世界を身近に感じ、将来の夢に繋がられるような体験をしてほしい、との思いで町内の小学5・6年生と中学生を対象に2泊3日の研修を行うこととした。



自治体こども計画策定業務委託料

440万円

(森永一美議員)

Q 計画の内容は？今ある「子ども子育て支援計画」と重複する部分が多いのであれば統合しては？

A 子どもから若者までを対象とした計画。町内小学5年生から30代までにアンケート調査を行い、意見を元に施策を決める。両計画はいずれ統合する方向。



今後の農業を考える協議会

0円

(穴井秀房議員)

Q 昨年度から協議を本格化した協議会であり、町長の施政方針でも現在協議中とあるのに、なぜ一方的に打ち切りとするのか？

A 新しい組織を設立し、今後はそこを中心に米・野菜等の既存特産品の強化や新たな特産品の生産・販売を行っていく予定だが、必要な時期には「今後の農業を考える協議会」を開催したい。

不良空き家解体事業費補助金

200万円

(後藤六男議員)

Q 補助の内容と件数は？

A 管理されておらず周囲に支障を来すおそれのある住宅の解体費用の一部を補助する。上限50万円の4戸分を今回予算計上した。



町道草刈り及び維持工事

4,470万円

(井上則臣議長)

緊 急性や費用対効果の面から言えば優先順位が低くなりがちな事業の一つではあるが、インフラ施設を適正に維持していくためには日頃のメンテナンスが重要である。今後も継続できるような仕組みづくりを期待する。



給食センター建て替えに伴う 詳細調査業務委託

49万円

(穴井則之議員)

Q 業務の内容は？

A 建替え候補地の地質地盤調査及び上下水道敷設に係る環境適性確認調査の費用。候補地は利便性も考慮しながら今後選定する。



会計別 前年度との比較

一般・特別会計 前年度比較

会 計 名		令和7年度	令和6年度	前年比
一 般 会 計		57 億 700 万円	55 億 1955 万円	3.4%
特 別 会 計	国民健康保険	5 億 5998 万円	5 億 8966 万円	△ 5.0%
	後期高齢者医療	9075 万円	8062 万円	12.6%
	介護保険	7 億 359 万円	6 億 6566 万円	0.3%
	計	13 億 5431 万円	13 億 3594 万円	1.4%
合 計		70 億 6131 万円	68 億 5549 万円	3.0%

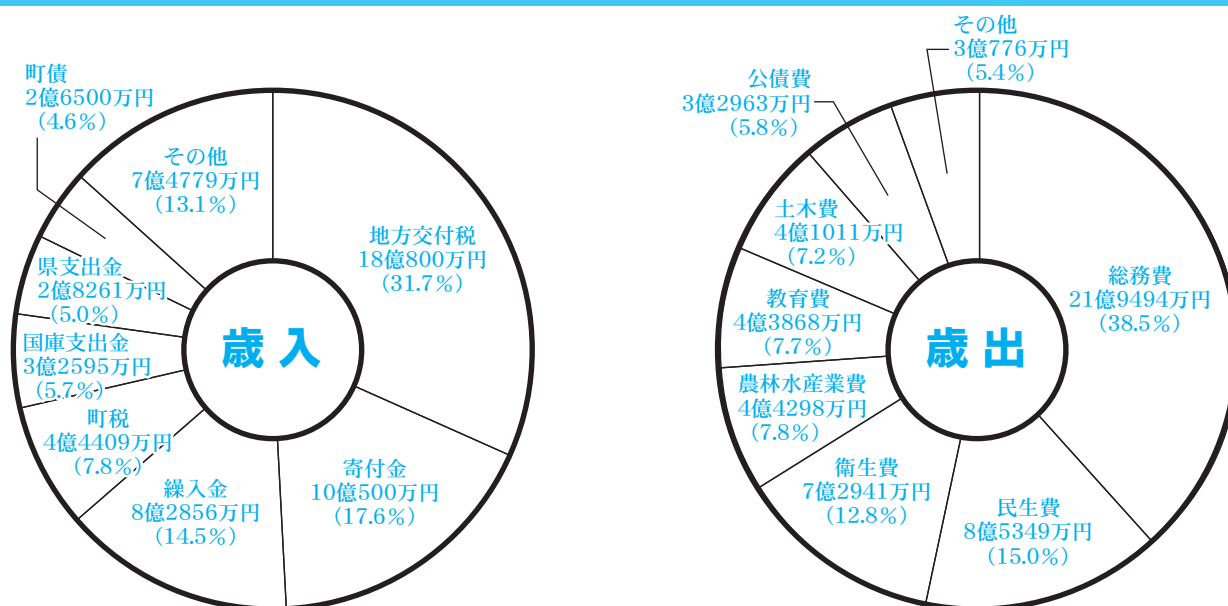
※表示単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合があります

公営企業会計 ※令和6年度から簡易水道・下水道事業は公営企業会計へ移行しました。

会 計 名			予 算	会 計 名			予 算
簡 易 水 道 事 業 会 計	事 業 収 益	1 億 5820 万円		下 水 道 事 業 会 計	事 業 収 益	2 億 2792 万円	
	事 業 費 用	1 億 6262 万円			事 業 費 用	2 億 3166 万円	
	資 本 的 収 入	2 億 4203 万円			資 本 的 収 入	5624 万円	
	資 本 的 支 出	2 億 8734 万円			資 本 的 支 出	1 億 1582 万円	

- ☐ 事 業 収 益：料金収入や他会計からの補助金など
- ☐ 事 業 費 用：人件費や物件費、減価償却費、借り入れた企業債（借金）の利息など
- ☐ 資 本 的 収 入：事業を行うために借り入れる企業債（借金）など
- ☐ 資 本 的 支 出：建設改良費や企業債の返還元金など

令和7年度 一般会計内訳



令和6年度から7年度への繰越事業一覧

(一般会計)

物価高騰対応重点支援臨時給付金	2010万円	令和6年度団体営農業農村整備事業	2370万円
地籍調査事業	2214万円	町道舗装維持管理計画事業	2400万円
道路メンテナンス事業	4268万円	社会資本整備総合交付金事業	2072万円
町道改良事業	3501万円	普通河川小田川河川改修工事(災害関連)	2880万円
道路維持事業	1050万円	令和6年度発生農地等災害復旧事業	1542万円

※千円単位四捨五入

令和7年3月 第1回定例会

3月定例会が3月4日から13日の会期で開催。一般質問や町長施政方針のあと、条例の設置・一部改正・当初予算など（条例10・予算18・その他5）が審議され、すべて原案通り可決されました。

●令和7年度当初予算

◆一般会計

主な審議

○大阪万博研修補助金

▼井野議員 今回の研修にたまたま病気等で行けなくなった子どもや小学1～4年生も万博に行ってみたいのではないか。例えば夏休みなど家族旅行で行く場合には補助を出してはどうか。

【答】 今回は南小国町がブラスを出演する期間に合わせたのと、団体での移動や宿泊を伴うため年齢も限定した。全ての子どもに体験させてあげたい気持ちは分かる。総合的に検討したい。

▼佐藤議員 一般の町民の方も行ってみたいのでは？参加負担金を取って町が定

期的にツアーを組んでみてはどうか。

【答】 とりあえずツアー会社に相談してみる。それから検討したい。

○入湯税と宿泊税

▼北里議員 入湯税と宿泊税の違いは。

【答】 入湯税は地方税法に定められた法定目的税であり、使途の内容も決まっている。一方、宿泊税は法定外目的税になり、使途は自治体が定めることとなっている。

○特産品開拓委託料

▼穴井秀房議員 特産品については「南小国町今後の農業を考える協議会」でも協議を重ねているところである。今回この予算を計上した意図は。

【答】 南小国町今後の農業を考える協議会とは別軸で農畜産物の販売促進を協議する組織を立ち上げる。

○くまもと県電子入札共同利用新規導入支援業務委託

▼森永議員 このタイミングで導入する理由は。

【答】 現在、県内45市町村のうち31市町村で導入されている。従来の入札は役場側にも業者側にもコストと手間が生じているため、今回

導入することとした。

○自治組織助成金

▼佐藤議員 助成金の算定は「世帯数」になっているが「人数」にすべきでは？

【答】 たしかに一人暮らしの世帯と大家族の世帯が同額だと格差が生じる。内容を精査して対応を検討したい。

○タブレット端末購入費

▼森永議員 子供たちはブレゼン大会や授業などでタブレットを使いこなしており、デジタルネイティブには必要不可欠だと感じている。購入するタブレットの仕様は。

【答】 前回から5年が経過したため入替えを行う。今と同じiPadのLTEモデルを予定している。



授業での使用風景

○基金利子

▼井野議員 昨年度に比べ基金利子が大幅な増額になっている。その理由と今後の基金の運用計画は。

【答】 一つは日銀のゼロ金利政策解除に伴い銀行の預金金利が上がったことと、もう一つは基金の一部について債券運用を始めたことで大幅な増額となった。債券運用については今後も安全性に留意しながら継続していきたい。

○町有地支障木伐採委託料

▼後藤議員 本来であれば支障木は個人が自費で伐採すべきと思うが、町が伐採する理由は。

【答】 個人の所有する山林の伐採ではなく、町有地から民家のほうへ倒れかかっていたりする支障木の伐採を行うため。

○夢チャレンジ補助金

▼森永議員 商工会の調査によると町内の約6割の事業者が後継者未定とのこと。この補助は事業を承継する場合も対象になるとのことだが、具体的な条件等はどのようなになっているか。

【答】 第三者への事業承継は

もちろん、親族内の事業承継であれば三親等以内が対象となる。

▼穴井則之議員 第三者承継で店を受け継いだ方がこの補助を利用しようとしたところ、年度途中であったため申込み期限が過ぎており断念したケースがあった。随時申込みを受けるようにできないか。

【答】 承継のタイミングで不利にならないよう、要綱の見直しを検討する。

○小国高校寄宿舎運営負担金

▼井野議員 負担金の内訳は。

【答】 令和7年度から始まる地域みらい留学事業に係る寄宿舎の運営費用であり、舎監や調理員の人件費等を両町で負担する。

○シン複合型農業実践協議会

▼穴井秀房議員 どんな取り組みを行う組織なのか。

【答】 米を主とする既存の特産物の販売強化と新加工品の開発ならびに農用地の保全と複合型農業による農業者の所得向上と雇用の増を目的とした事業を展開していく。

○タクシー利用費助成事業補助金

▼佐藤議員 通院などで上限の50枚を使い切っている高齢者もおられる一方で、数枚もしくは全く使用しない方もおり予算的には余っている状況である。福祉目的の事業として制度設計の見直しを行ってもよいのではないか。

【答】 この事業についてはある程度満足いただいていると思う。今後はライドシェアや町内在住外国人の移動手段などを含めて総合的に考えていきたい。

○子育てシンポジウム

▼井野議員 シンポジウムの内容は。

【答】 先進地の事例を参考に子育て世代が求めている支援について講演とパネルディスカッションを開催する。主催は南小国町と一般財団法人自治総合センターで対象者は全町民。会場はきよらホールを予定しており、期日は現在調整中。

○交流促進センター指定管理委託料

▼佐藤議員 温泉館きよらの施設全体の指定管理委託のはずだが、今の受託者は

1階の温泉施設しか管理していない。であれば1階部分を業務委託にして、2階部分は受託者に使用してもらい賃料をいただくようにすれば町の持出しを減額できるのではないか。

【答】 施設を分離するという想定がなかったので、運用面も含めて検討したい。

○中学校制服購入費

▼穴井則之議員 購入費の内訳は。

【答】 令和7年度の夏服32名分、令和8年度入学生徒用夏服35名分、同じく冬服35名分を購入する予定。

▼森永議員 子育て世帯からは大変助かっているとの声を聞く。今後も継続してもらえるのか伺いたい。

【答】 財政が許すかぎり継続していきたいと考えている。

○道路巡回・補修業務委託

▼井野議員 委託の内容は。

【答】 今までは町道の軽微な補修や降雨後の竹などの除去は職員が行っていたが、工事が立て込んでくるとなかなか対応できないことから、しごとコンビニを利用して委託する。

○小国杉モバイル建築施設整備工事

▼北里議員 施設の大きさと用途は。

【答】 4.5m×5.6m程度の大きさで、地域おこし協力隊の事務室を想定している。

○バイオマス産業都市構想

▼佐藤議員 本町がバイオマス産業都市に認定され、チップの増産やウッドチップの導入などが計画書に記載されているが、予算化されていない理由は。

【答】 発電施設の基本計画の作成を予定している。国の補助事業を活用したいので令和8年度の予算計上を見込んでいる。

○集落支援員

▼井野議員 地域おこし協力隊は年1回の活動報告があるが、集落支援員はどんな事をやっているのか見えない。活動報告会を開く予定は。

【答】 どんな形になるかわからないが協議していきたい。

◆国民健康保険特別会計

主な審議

○外国人の保険税滞納

▼佐藤議員 外国人の方が就労目的で日本に来て国民健康保険に加入し、治療を受けたものの保険税を払わず自国に帰るといった話を聞

く。徴収に向けた取り組みはあるか。

【答】 国内に転居した場合は住所や職場を調査して給与の差押えなどを実施しているが、国外へ転出した場合は追跡しようがないため手を焼いている。

◆後期高齢者医療特別会計

主な審議

○システム改修委託料

▼井野議員 子ども子育て支援金に関連するシステム改修とのことだが、後期高齢者医療とどういった関係があるのか。

【答】 子ども子育て支援金については令和8年度から毎年、医療保険者から支援納付金を徴収する仕組みになっており、後期高齢者医療についても該当になる。

◆介護保険特別会計

主な審議

○介護施設の閉鎖

▼後藤議員 全国的に介護職員が不足しており施設が閉鎖されているという話を聞く。本町の現状は。

【答】 本町の介護サービス事業所については特にそういった動きは見受けられない。各事業所で人材確保・育成に取り組んでいる。

◆簡易水道事業会計

主な審議

○市原水源取水設備整備工事

▼穴井秀房議員 事業の内容は。

【答】 新しい市原水源はケーシングまで完了しており、今年度はポンプ、取水設備、浄水設備、市原配水池までの送水管の整備を行う。



ボーリング工事風景

○水道料金の値上げ

▼北里議員 全国的に水道料金の値上げが行われている。本町でも値上げの計画があるのか。

【答】 本町は30数年値上げを実施していないため改正は必要と考えている。今後具体的な内容について協議していく。

○地域おこし協力隊インターン

▼佐藤議員 今年度の参加者数と活動内容は。

【答】 10名の枠に対し6名の参加があり、観光協会や今の地域おこし協力隊の仕事を体験してもらった。今後参加者が増えるようSNSをはじめ色々な媒体で周

一般会計 主な補正予算

	(万円)
地籍調査委託料	△1,214
電算関係運営支援委託料	△2,272
施設型給付費公立保育園負担金	1,600
予防接種委託料	△897
経営発展支援事業補助金	△1,199
町道草刈り及び維持工事	△800
町道改良工事他	△1,300
道路メンテナンス事業工事請負費	800

●令和6年度一般会計補正予算(第12号)

歳入歳出それぞれ2億3068万円を減額し、総額61億5202万円となりました。

【反対討論】

▼佐藤議員 指定管理が長年続けられてきているが、この指定管理制度というものが本場に町に適用しているのか、業務委託ではだめなのか、もう少し費用を抑えられる方法もあるのではないかなど、一度立ち返る必要があると思うので反対する。

●指定管理者の指定

◆総合物産館
管理者 SMO南小国
(賛成多数)

◆交流促進センター
管理者 ヤークママ
(賛成多数)

◆木材拠点施設
管理者 Foreque
(賛成多数)

【答】 公表に向けて検討していく。

知していきたい。

○入湯税の使途

▼森永議員 別府市や京都市は入湯税の使途について公表している。納税者(入浴者)の納得を得るため、また入湯税が生活に活かされていることを町民に周知するためにも本町も公表すべきでは。

3月定例会(3月4～13日) 採択結果

議案番号	事 件 名	採決結果	下城	北里	佐藤	森永	井野	後藤	穴井秀	穴井則
議案第30号	南小国町総合物産館の指定管理者の指定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第31号	南小国町交流促進センターの指定管理者の指定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第32号	南小国町木材拠点施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○

○…賛成、 ×…反対、 ※賛否の分かれた案件のみ掲載。

令和7年 議会日誌

2月	1	第6回プレゼンテーション大会
	4	子ども子育て会議
	20	議会運営委員会
	21	阿蘇広域議会運営委員会
	21	県町村議長会第75回定期総会
3月	1	熊本県立小国高等学校卒業式
	4～13	令和7年第1回定例会
	7	南小国中学校卒業式
	7	熊本県立小国支援学校卒業式
	13	議会広報調査対策特別委員会
	21	各小学校卒業式
	21	ケーブルテレビ放送番組審査会
	17	今後の農業を考える協議会
	24	阿蘇広域議会定例会
4月	25	小国公立病院議会
	8	小国高校入学式
	9	小・中学校入学式
	14	阿蘇市町村議長会総会
	14	春の全国交通安全運動街頭指導
	17・23	議会広報調査対策特別委員会

●条例

◆水道条例の一部改正

改正内容
簡易水道事業の計画の見直しについて県の変更認可を取得する必要があるため改正を行う。

◆議会委員会条例の一部改正

改正内容
令和7年度から保育課が設置されることに伴い、総務文教常任委員会の所管に「保育課」を追加する。

●人事

◆監査委員の選任

陣の前 石橋 正寿氏
(再任)

●その他

◆町道の路線変更

改正内容
波居原の長迫にある町道黒川波居原線と国道442号の交差点の工事完了に伴い終点の変更を行う。



佐藤 毅 議員

Q 私有地への土地借上料の支払い、いつまで続ける？

A 貸借を続けつつ、売買交渉を行っていく

① 総合物産館

問 契約から32年。営業を継続するなら、土地譲渡が必要。別の土地に道の駅となる物産館を整備しては、町長の強いリーダーシップで交渉を進めていただきたい。

町長 国交省から道の駅建設の要望がある。契約更新の時期も近いので、私自身も交渉に同席して意向を伝えていきたい。

② 観光農園

問 契約から29年。使用されていない施設がある。今後どう活用する？

農林課長 新規特産品関係で利用を続ける。

③ きのこセンター

問 契約から29年。休業するのであれば、返還するのか？

農林課長 事業の継続が、中止・休業を検討中。半年の間に結論を得たい。

町長 事業継続については、協議議論をしていく。

④ 市原保育園

問 契約から23年。遊ぶ場所が広いほうが良い。施設の老朽化で新設移転も考える時期。契約満了まであと1年。どうする？

福祉課長 建物との関係は避けられない。保育ニーズの変化等の課題を含めて、将来を見据えて検討を諮って行く。



観光農園



総合物産館きよらかサ



穴井 秀房 議員

Q 移住定住希望者の住宅について

A 本町への移住定住を希望する人が一定数いるが住宅事情は潤沢とは言えず、早期に対策を行いたい

問 移住定住希望者は一定程度いると聞いているが、いざ移住定住となったときに本町には住宅が不足している状態。

家族での移住定住には多額の資金が必要になり、若い世代では住宅の新築、購入、リフォーム等金銭面でハードルが高い。

この対策として戸建て等の賃貸住宅が望まれるが本町には対象物件が少ない。高森町では移住定住者に対して手厚い対策を行っている。茨城県境町では、町営で建設した住宅に二十年間住み続けることで土地、住宅ともに無償譲渡する施策で多くの移住定住者を実現している。何か対策を行う必要がある時期ではないか。

町長 移住定住希望があっても住宅状況から移住に繋がらないケースがあるのは否めない。特に賃貸希望があるため、住宅確保の取り組みをできるだけ早く進めたい。



茨城県境町の定住促進住宅
(マンションタイプ)



茨城県境町の定住促進住宅
(戸建てタイプ)

Q 空き家を避難所にどうか？

A 管理体制として現状では実施は難しい

施は難しい。

は管理体制として実

かける。議員の提案

な場所待機を呼び

いう自宅の最も安全

険なので垂直避難と

屋外に出ることは危

いた。緊急時は

は指定避難所に避難

町長 町として避難

所にできないか？

主の協力を得て避難

家などがあれば持ち

3〜5軒の中の空き

る。緊急時、集落内

いり避難が困難にな

きに緊急事態におち

降水帯になるといつ

問 大雨のとき線状

現地調査の結果

地 区	調査件数	空家等		利活用可		要判断 ※外観での判断 が難しいもの		利活用不可 ※外観上危険と 判断されるもの		その他 ※既に利活用等 されていたもの	
		R5	R3	R5	増減	R5	増減	R5	増減	R5	増減
大字赤馬場	45	35	39	23	-1	6	1	5	-5	1	-14
大 字 中 原	37	35	23	15	0	9	+6	11	+6	0	-3
大字満願寺	56	52	47	16	-3	16	+3	19	+4	1	-7
合 計	138	122	109	54	-4	31	+10	35	+5	2	-24

Q J A跡地にきよらスマイルパークを

A 交流拠点などを踏まえ町民がスマイルになるように進める

問 去る12月定例会のみ

ら小国中学校3年生が町の今

と未来の課題を基本に研

究、検討して町執行部と議

会に課題解決の提案をされ

た。私は一議員として賛成

の理由は町に公園が無いこ

とは子育て環境など他世代

の交流拠点としてぜひとも

必要だと考え設置を望む。

町長 中学生が農協跡地に

ついて素晴らしい提案をし

てくれたことに感謝を申し

上げる。議員の言われる交

流拠点、災害時に避難所と

しても必要であり、町民も

求めていると思う。貴重な

アイデアを参考に再度アン

ケートも踏まえ町民がスマ

イルになるように進める。



後藤 六男 議員



森永 一美 議員

Q 産前産後の家事育児サポートとして社協のヘルパー事業を活用しては？

A 前向きに検討する

問 今、子どもと保護者への支援を社会全体で推進することが求められている。産前産後から幼児期において、支援制度の充実が必要では。

病児・病後児保育を切望する声がある。有資格者が自宅に来て保育する「訪問型」で実施できないか？

福祉課長 公立病院内での「施設型」は看護師確保が難しく見送りとなった。考えていく。

問 妊娠出産を頑張ったお母さんと赤ちゃんにありがとうの気持ちを渡すためにも、①産後ケアの初回利用を無料にしては？②産後1年以内のお子さんとご家族に町内宿泊補助をしてはどうか？町の良さに触れてもらう機会になるのでは。

町民課長 関係機関と連携し解決策をつくりたい。

問 産前産後の家事育児サポート体制が必要。社協のヘルパー事業を活用できないか？

福祉課長 前向きに検討する。



産後の心身のケアを目的とした「産後ケア」で安心したように眠る赤ちゃん



未就園児の親子や妊婦さんが集う子育て支援ひろば「ぬくもり」の活動



井野 和哉 議員

Q 高齢者福祉サービスのさらなる充実を

A 高齢者の安全と、生活の質を確保していく

問 全国の高齢化率は30%弱であるが、町内の高齢化率は。

町民課長 今年の2月末現在、町内の高齢化率は40%である。

問 町内の各介護施設では、要支援・要介護の方々の利用が伸び悩んでいるような話を聞くが、何が要因を把握しているか。

福祉課長 要支援・要介護の人数自体大きな変動はないが、小国町内にも介護施設があり両町ともに在宅介護を進めているので、そういった部分で利用者の数が増えていないのが要因ではないか。

問 旧グループホーム森園は、多世代型交流施設として利用予定とのことだが。

福祉課長 子育て支援の拠点として、さらに元気アップ教室や、男性に人気のある健康マージャンやeスポーツなど、定期的に行える形で取り組んでいければと考えている。



旧グループホーム森園



湯夢プラザ（湯田）

経済建設常任委員会

穴井 秀房

令和7年2月26日、建設課より「現在は町道となっているが、山林や原野の中にあり道路としての使用が極端に少なく、また老朽化した橋梁等があり、今後の管理の難しい路線について今後どのように対応するか」の協議申し出があり協議を行いました。

今回は5路線について協議しましたが全路線に老朽化が見られ、中には通行不能の橋梁もありました。架け替えには多額の費用が必要であり、また一部は町道としての使用もほとんど無い状態の路線であることから、今後地元と協議を行い、必要であれば正式に廃止の手続きをすべきでは、との結論に至りました。廃止後は里道や町、個人名義の公衆用道路となる予定です。

町内には自動車等の通行が不能となっている町道も多路線存在する状況です。今後は順次路線毎の見直しが必要と思われます。



腐食した橋桁



老朽化が進む橋

総務文教常任委員会

佐藤 毅

①移住定住促進空き家活用住宅の設置等の条例を制定

町内にある利用されていない住宅を、所有者が10年間無償で町に貸し出すことを条件に、町が借上げ整備改修工事を行い、移住定住を希望する方へ貸し出す住宅の設置を目的とする。すでに3戸の空き家住宅が整備され、2戸が賃貸中で、もう1戸も賃貸準備中。今後も空き家の利活用を促進するために、事業を継続して空き家問題に対応していく。



改修前

改修後

②4月より保育課新設

近年多様化する保育ニーズ等に対応するために、新たに保育課を設置して保育園運営の充実を図る。また施設、建物の老朽化が複数の園でみられ、その課題解決にもあたる。

市原保育園では、2階の改修工事を7月までに終え、教室不足の解消を図る予定である。



仕切り工事を行う
市原保育園(2階)

小国郷公立病院組合議会

後藤 六男

3月25日に令和7年第1回定例会が行われました。主な議案では令和7年度病院事業会計予算で運営の収益費用として総額18億6570万円の議案が提出され、十分な審議の結果、可決承認されました。なお診療による収益は11億6059万円であり、全事業費の62.2%を占めています。

支出の建設改良費の内訳は医療機器購入費及び老人保健施設の非常用自家発電機設備設置工事等を予定しているとのことでした。また一般質問として入院患者の給食改善、診察室でのプライバシー保護、病棟の管理について質問がありました。

阿蘇広域行政事務組合議会

北里 桂一

3月24日に阿蘇広域行政事務組合議会定例会が開かれ、組合長には先の阿蘇市長選挙で市長になられた松嶋和子氏が就任されました。

また令和7年度の予算審議があり、本町の負担金額は下記のとおり決定しました。

費 目	金 額	(前年比)
総務費	1011 万円	(－ 165 万円)
衛生費	1 億 3296 万円	(＋ 866 万円)
消防費	1 億 2305 万円	(＋ 663 万円)
計	2 億 6612 万円	(＋ 1364 万円)

井 和久さん

祖父のもとへUターン就農し、規模拡大。
2024 年度農業コンクールで「新人王」受賞！



プロフィール

小原でほうれん草とトマトを作る井農園代表。祖父母の田畑を継承し、規模拡大と安定収入を実現したとして、2024 年度の熊本県農業コンクール大会において新人王部門で優良賞受賞。

…就農された経緯を教えてください。

県外でサラリーマンをしていた29歳の時、祖父母の田畑はどうするのか？将来をどう考えているのか？と姉に諭され、帰郷を決めました。帰郷し「就農でしたが、祖父から「好きにしてい」と言われたこともあり、帰郷後は一年の半分でほうれん草を作り、あと半分は別の仕事をしていました。

そんなある日、町内で農業をしている同級生と話した時に、農業の可能性を信じて頑張っている姿に衝撃を受けました。自分ももっとやれるんじゃないか、もっと頑張ろうと思い、トマトを始め、徐々にハウスを増やしました。今では帰郷した時と比べると4倍の規模になりました。規模を拡大する際には不安もありますが、決断して自分を追い込むことで頑張れているのかと思います。町内外で頑張られている農家さんの存在も大きいです。

…受賞に繋がった井さんの農業について教えてください。



県農業コンクール新人王部門での町内受賞者は2008年度の佐藤豊和さん(手形野)以来の快挙



春～秋は早朝から働きつめるが、冬場は畑もご自身もしっかり休む。年間を通してメリハリをつけた働き方も特徴的

小原は標高700メートルある高冷地です。高冷地は夏場も涼しいので、平地では難しい夏場の栽培が叶います。平地で栽培が難しい時期は、市場の流通量も減るので、単価が上がります。この単価が高い時期に出荷量を増やすことで安定した収入に繋がっています。出荷量を増やすためにもハウスを増やし規模を拡大しています。規模拡大すると到底家族だけでは間に合わないので、作業を分担し、袋詰めは地元のご婦人方に、ハウスの仕事は外国から来た技能実習生に、とそれぞれの得意分野で活躍してもらっています。農業はやっぱりやった分だけ見返りがある仕事だと思っています。特にトマトの実がキレイになっているのを見るとテンションが上がります。

…今後に向けて。

今後作るのはトマトとほうれん草のみに絞って、おいしいと感じてもらえるのももちろん、更に規模を拡大していきたいと思っています。

取材・撮影：文…井野和哉・北里桂一・森永一美

編集後記

春の日差しも暖くなり桜の花も満開の入学式が行われ新しい環境や出会いが始まる季節となりました。

世界では第二次ランプ政権となり相互関税発動等で株価の暴落や国際貿易のあり方が懸念されるところであります。

慌ただし年度末を迎え3月定例議会が開催されました。今までは無かった7日開催の議会となり来年度の予算が主な議事でした。予算に対して質疑応答が多数なされました。

より良い街づくりを執行部と議会が真剣に議論を重ねていることの意義と責任、二元代表制であることの意味を改めて感じました。

新年度に向けて新たな取り組みや課題に町民の皆様の付託に答えられるべく議会としても取り組む必要性を感じました。

今後町民の声を町につなぐ議員としての役割を果たし、よりわかりやすく皆様に伝えられる広報誌を作って参りたいと思います。(北里桂一)

発行責任者

議長 井上 則臣

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井野 和哉

委員 穴井 秀房

委員 北里 桂一